

平成 29 年度 春日東野幼稚園 学校関係者評価

平成 29 年 9 月 11 日実施

アンケート形式で学校関係者評価委員会（構成：保護者 12 名／理事 5 名／評議員 6 名）
全員に配布、各設問（26 項目）を 5 段階評価にて回答、全員回収

評価の段階	
5	十分出来ている
4	↑ ↓
3	
2	
1	不十分である

	設 問	評 価 (5 点満点)
園運営に関する項目	1 園の特色がわかりやすく、広く関係者に伝わっている、伝える努力をしている	4.36
	2 園は危機管理や安全対策に充分取り組んでいる	4.36
	3 園は施設・設備等の教育環境の充実・整備に努めている	4.13
	4 園は保護者への情報発信に努めている	4.22
	5 園は清掃や整理整頓が行き届いている	4.45
	6 園は園・家庭間で連携がとれるよう努力をしている	4.45
	7 園は絵画・音楽・体育などの個性を育む活動を大切にしている	4.40
	8 園は異年齢の園児が交流できる時間を設けている	4.04
	9 園は園児の教育に自然を取り入れている	4.40
	10 園は遊びを通してルールを学んだり我慢したりする経験を積める工夫をしている	4.22
	11 園は保育に園児のしたいことや興味のあることを取り入れ、園児の関心を向上させている	4.15
	12 園は園児が意欲的・自主的に遊べるように努めている	4.00
職員に関する項目 担任に限らず、園全体の職員	13 職員は保育に熱心に取り組んでいる	4.36
	14 職員は保護者との信頼関係ができています	4.31
	15 職員は保護者からの電話や訪問時の対応を適切かつ丁寧に行っている	4.45
	16 職員は一人一人の園児に平等に接している	4.31
	17 職員は園児に対して、その場にふさわしい言葉遣いができています	4.21
	18 職員は園児同士の好ましい人間関係の構築に努めている	4.18
	19 職員は園児一人一人の特性を把握し、適切に指導している	4.13
	20 職員は園児の動き・視線の動きに気を配っている	4.18
	21 職員は園児や保護者の悩みや問題に対して適切に応じている	3.90
	22 職員は園児に礼儀や挨拶を習慣づける指導をしている	4.22
	23 職員は園児に身の回り品の整理整頓、後片付けをしっかりと指導している	4.31
	24 職員は園児に約束やきまりをきちんと守らせる指導をしている	4.36
全般	25 園児は園行事・園生活に満足していて、幼稚園が楽しいといっている	4.22
	26 園の保育活動全般に対して満足している	4.27

- ① ラジオ体操や運動会の音楽テープが古くなっており耳障りな時がある。
- ② 子どもの様子を担任と話せる機会を増やしてほしい。
- ③ クラス懇談会で保護者の自己紹介など、クラス内の関わりを深める内容を加えてほしい。
- ④ 毎日の朝礼は子どもの体の負担を考慮し、見直してほしい。
- ⑤ 参観は子どもが一人ずつ発表するが、自信が無く発表できない子どももいるので形を変えてほしい。
- ⑥ 職員の言葉遣い等、いき過ぎていると感じる時がある。
- ⑦ 園児がのびのびとしておらず、やらされていると感じる時がある。全体的に厳しいと思う。
- ⑧ 遠足が少ない。
- ⑨ 空気清浄器を病気の感染拡大防止のため設置してほしい。(これに関しては設置済ですが説明が足りていなかった)
- ⑩ 園出入り口のセキュリティーを強化してほしい。

平成 30 年度に向けた重要改善項目

低評価項目
(評価点 4.0 未満)

21. 職員は園児や保護者の悩みや問題に対して適切に応じている

3.90

【改善目標】

長期にわたり重要改善項目となっていた異年齢園児交流はおおむね改善できたが、新たな低評価項目が生じている。理由としては、今まで担任以外で悩みや問題に対応していた職員・事務員の産休・療養が重なり、気軽に相談できる話相手がいなくなったためと考えられる。また、上記理由で職員室に常駐できる人員が一時的に減ったため、ますます相談等をしづらい環境となってしまった。

人員の確保はもちろん、事務仕事の簡易化（電子化）を導入し、園児や保護者の悩みに対応できる時間がとれるよう体制と環境を整え、来年度に向けた改善目標とする。

【その他改善を求める項目】

上記の重要改善項目にもあるように園と保護者のコミュニケーションがスムーズでは無かった部分があり改善を求める項目が例年に比べ多数あがった。

まずは重要改善項目をしっかりと見直した上で、教育上必要な内容はしっかり説明できる環境を構築したい。もちろん、一つ一つ大切なご意見として傾聴し、改善できることから取り組んでいきたい。